

科学自然都市協創連合「大漁旗プロジェクト」千葉市ワークショップを開催します

千葉市では、科学自然都市協創連合の設立記念事業として実施する「大漁旗プロジェクト」で、大漁旗を制作するための千葉市ワークショップを開催しますので、お知らせします。

1 「大漁旗プロジェクト」の目的

科学自然都市協創連合の設立記念事業として、SDGs(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))と最先端の科学・技術の視点で「まちづくり」を捉えなおすことを目的に、日本各地が誇る魅力とビジョンを描いた大漁旗を自治体ごとに制作し、日本沿岸を航行する船に託し各地を繋ぎ、東京大学安田講堂に旗を集結させる企画。

大漁旗図案のサポートを含め、東京大学生産技術研究所の教職員によるワークショップを開催する。

2 千葉市ワークショップ開催の概要について

(1) 日時

令和2年9月12日(土) 13:00～16:00

(2) 場所

千葉市教育委員会 第1及び第2会議室(中央区問屋町1-35 ポートサイドタワー12階)

(3) 講師

東京大学生産技術研究所 教職員 7～8名

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、リモートで開催する。

(4) 参加者

市内中学生10～20名

(5) 内容

ア SDGs(持続可能な開発目標)と千葉市の魅力再認識ワークショップ

イ 東大生研の研究者による最先端の科学研究紹介「都市に木造建築」

ウ カードゲーム形式による地域の魅力と科学技術発展の関連を思考する体験

3 大漁旗プロジェクトの流れ

9月12日(土) 千葉市ワークショップ開催

10月 千葉市大漁旗デザイン完成(花園中学校美術部考案)

10～11月 総会及び運営協議会

2月14日(日) 安田講堂イベント

＜参考＞科学自然都市協創連合とは

東京大学生産技術研究所を中心にロケット研究発祥の地である千葉市、東京都杉並区、東京都国分寺市、秋田県由利本荘市、秋田県能代市、鹿児島県肝付町の6自治体で科学自然都市協創連合が2019年に設立された。

【過去の大漁旗の例】



和歌山県和歌山市加太



岩手県釜石市



岩手県陸前高田市



秋田県仙北市



静岡県静岡市



福岡県北九州市